

ふれんど通信

第 32 号

発行 平成 30 年 10 月 29 日 児童養護施設ふれんど
〒348-0047 羽生市大字下新郷 666 Tel.048-560-5866

巣立った彼にエールを送る

施設長 川田 光好

退園した子が、私たちの施設へ「第二の故郷」として懐かしみながらやってきます。自立している子も家庭引き取りの子もみんな幸せになって欲しいと願っています。そして私たちはアフターフォローの思いを永遠に持ち続けたいと思っています。

私が施設長になってすぐのこと。深夜の駅前の暴走グループの中に彼はいました。施設から連絡があり夜間現場に直行しました。駅前はパトカーの非常灯がキラキラ回って騒がしい気配でした。物陰に数人の若者がしゃがみ込んでタバコを吸っているようです。見渡したところ、わが施設の彼は見当たりません。施設長の姿を見て早々に姿をくらましたようです。警察の方と話をしている中で、わが施設の彼は年が若い方で、いわゆるパシリということがわかりました。私の立場をお話して警察の方々に協力させてもらうことを伝えました。警察の方がいなくなると彼らはどこからか集まって、バイクをけたたましくうならせて暴走行為を繰り返していました。

夕方になると彼は施設から姿を消して、仲間とバイクにまたがって夜の街を爆走していました。他の人に迷惑をかけないように、また彼自身がバイクで大げななどしないようにと夢中で取り組んでいたような気がします。何回か駅前に顔を出しているうちに、親しく会話を交わせる若者も出てきました。そうした会話の中から、怖い先輩から呼び出しをくっていることがわかりました。好んで暴走を繰り返しているものばかりではなさそうでした。確かに駅から少し離れたところから、高級車で光り物をつけたお兄さんがじっとこちらを見ているのがわかりました。翌日、必要な時には申し出る確約をしたうえで、携帯電話を一時私が預かることにしました。彼を養護する意味を込めてその方法を選択したのですが、彼は全面的に納得はしていなかったのか、先輩の圧力があつたのか、「携帯を奪われた」と警察に通報したのです。即刻パトカーの出動と相成りました。結果、毎夜お世話いただいた警部さんから、彼が嚴重に注意を受けることになりました。幸い、その後夜の暴走は収まりました。

彼との会話の中で、「園長！俺はまじめに稼いだ金で手土産を持ってふれんどに来ることが夢なんだよ」「それはうれしことだね。がんばって働いておくれ。待ってるよ」とやりとりしました。しばらくして、自立した彼は、草加から通勤用の原付バイクでふれんどを訪ねてくれました。彼の手には、草加せんべいのデラックスセットが携えられていました。私たちの仕事は、大変だけれどこんなうれしいことがあるから頑張れるんだと感じました。彼の手を握って心からエールを送りました。

保護者の応援団のひとりとして

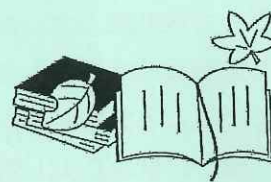
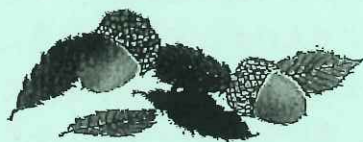
ふれんどで「家庭支援専門相談員」をしています。家庭支援専門相談員が施設に配置されている趣旨は为什么呢。「虐待などの家庭環境上の理由により入所している児童の保護者等に対し、児童相談所との密接な連携のもとに電話、面接等により児童の早期家庭復帰、里親委託等を可能とするための相談援助等の支援を行い、入所児童の早期の退所を促進し、親子関係の再構築等が図られることを目的とする。」とあります。

人は誰しも、幸せになりたい、幸せでありたいと願います。そして、多くの人が「幸せな家庭」というものを思い描き、あこがれたことがあるのではないのでしょうか。しかし、様々な理由で家庭における親と子が、必ずしも良好な関係でいられるとは限りません。それは親のせいでしょうか。子どものせいでしょうか。ほんの少しの親族や近所の人の手助けがあれば、子どもが施設に措置されることなく、地域の中での養育が可能だったかもしれません。

初めて保護者の方と対するとき、私自身の感情や意見をお伝えすることはせず、できるだけ、じっくりゆっくり、話をうかがいたいと思っています。なぜ、期せずして一緒に暮らせない状況になってしまったのか。保護者の方にも言いたいことはたくさんあるはずですが。努力したことや上手いかなかったこと。助けてほしくても誰に助けを求めていいのかわからず声をあげられなかったこと。時には子どものことを離れてご自身の子どもの頃のことには話が及ぶこともあります。そういったことを聞いてくれる人が必要だと考えるからです。そして最終的には批判的な眼差しを向けられてきた保護者の方に生きる力を回復してもらいたいからです。

まだまだ未熟ではありますが、保護者の方に気軽に相談して頂ける存在になれるよう、努力していきたいと思います。

FSW 長島邦子



里親支援専門相談員より

今年度より「里親支援専門相談員」となりました、田中智也です。里親支援専門相談員とは、ちょっと長くて覚えにくい名前ですが、児童養護施設に配置され、里親に関する相談や調整、里親委託を推進していく職員のことです。「里親って難しそう」、「里親は施設と違うから心配」…と敬遠されがちですが、里親制度は少しずつ身近になってきています。正しい理解とアフターケアまで含めた提供が出来るよう、私自身も勉強中です。よろしくお願ひします。

田中智也

新任職員紹介

いまむら けいすけ
今村 佳将

うえはら あんな
上原 杏奈 です。

☺好きなもの・こと☺

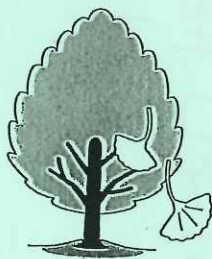
- 旅行
- 音楽を聞くこと
(ライブもいきます)
- ムーミン
- 猫

早くみんなと仲良くなって、
明るく楽しく過ごしたいと
思います。
よろしくお願いします!

10月からG棟の職員に
なりました。

好きなものは、プロレスと
からあげです。

宜しくお願いします。



オニとウ
よしなり
佐藤 由成 です。

神奈川県
の塾、三重県の
児童施設で働いていました。
時々、三重弁(関西弁)を
しゃべるけど、
ワザンやで。
ニコシク。

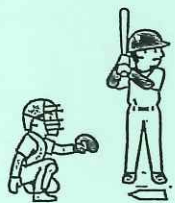
「児童養護親善球技大会を終えて」

8月23日、例年開催されている「児童養護施設親善球技大会」が今年も開催されました。今年の夏は猛暑に見舞われ練習すら出来ない日々が続きました。子ども達からは「今日は出来る?」「明日は?」との声が多々聞こえてきましたが、いつから練習出来るかを答えることが出来ないまま日が経ち、不満も多かった様に思います。少しでも涼しくなった日にはチームの仲間同士声を掛け合っ練習に励みましたが、練習量が少ない為自信を持ってない子が多く、チームワークにも少なからず影響していた様に感じました。子どもも大人も不安でいっぱいの中、大会本番を迎える事になりましたが、そんな不安を断ち切ったのは子ども達でした。

試合が始まる前、上級生達がチームの雰囲気盛り上げようと声を掛けると、下級生達もそれに応え、練習では考えられない程にチームがまとまっていました。良い雰囲気はそのまま続き、結果は2年連続の優勝と最高の結果で終える事が出来ました。

練習からは想像も出来なかった子ども達の姿を目の当たりにし、大人が想像している以上に子ども達は成長しているのだと感じました。また、結果的に優勝する事が出来ましたが多くの課題も見つかる行事になったと思います。この経験を活かし今後に繋げていきたいと感じました。

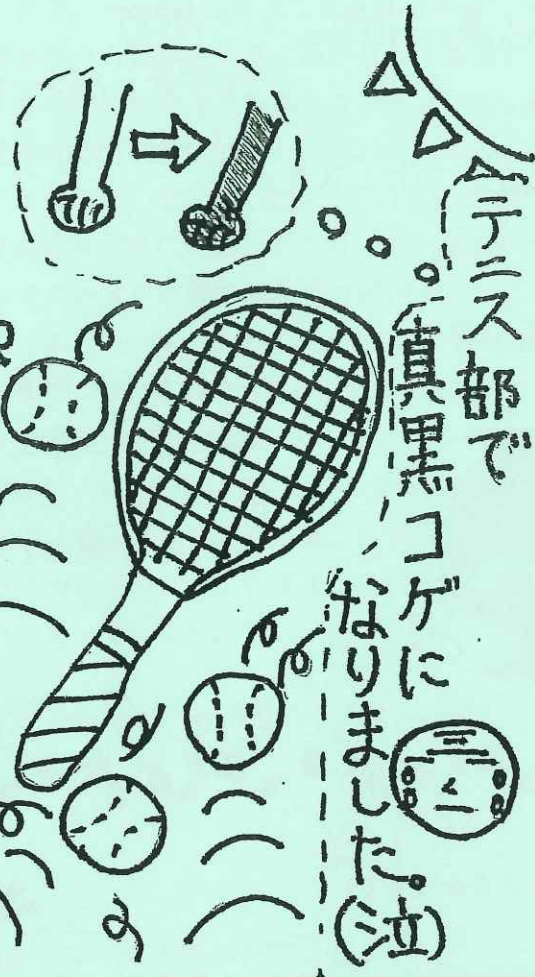
子どもにとっても大人にとっても良い夏の思い出となりました。





夏のおもいで

中一 S.P.R



テニス部で
真黒コゲに
なりました(泣)



この夏休みの間に、ソフトボール大会がありました。そして、2連勝するコゲが多かったです。最後はホームランを打つことができたので、よかったです。来年も頑張りたいです。

中一 S.P.R

アイスニールランド

タワーオブテラー

がたのしかった。

小一ト・I



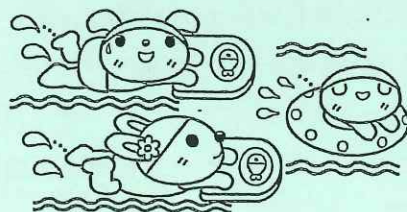
プールに行きました

楽しかったです。

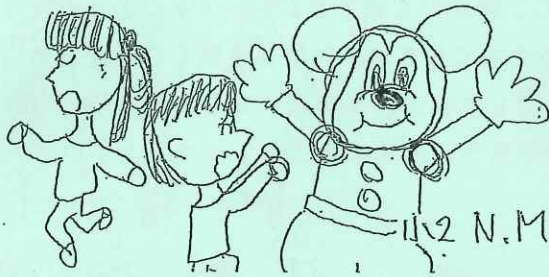
また夏期講習で

まんがにはまき心なかったです。

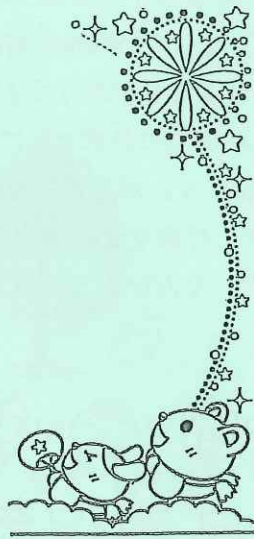
受験がんばります。



なつ休みの思い出
 ディズニーシーに
 行ってタワーが、
 ブレークが、あんな
 楽しかった。でも
 ほかのりさんの
 思い出もたくさん
 ありました。



夏休みで楽しかったことは、ゲームをやったり、
 アニメを見たこと、友達と遊びに行ったり、
 ラジオを聞くのも楽しかった。
 高三 M.K



僕の今年の夏の思い出は部活動の

サッカーを頑張ったことです。

暑い日が続く中、下部活の仲間と

一所懸命練習したところが強く

印象に残っています。



中二 T.N

夏の思い出



夏休みは映画を観に行きました。とても楽しかった。
 心スリッパの大会もありました。

暑い日が続きほとんど練習はできませんでした。
 練習がまんこくにできなかったのが、がんばりすぎて

しきり水を怪我してしまいました。
 僕の夏休みは苦しい思い出で終わりました。

高一 Y.M

《ふれんどでの職員の役割》

この4月からふれんどで常勤の心理士として勤務しています。どうぞよろしくお願い致します。

さて、ふれんどのような児童養護施設に入所している子ども達は、ふれんどに来るまでに様々なつらい体験や多くの別れなど複数のトラウマを経験してきています。自分が大事にされてきた安心感や基本的な信頼感がないままふれんどに来ている多くの子ども達は、自分は「大切な存在」という実感がないため、新しく養育者となる職員を戸惑わせることが多いのが現状です。対人関係において安全感を持ち続けることが困難、攻撃的な行動で孤立無援感や無力感に対処しようとする、将来への希望が持てない、常に周囲を警戒し過覚醒状態、記憶が断片化され行動がその場限りになる、状況に圧倒されやすく自己破壊的ではない方法(暴力・自傷・依存など)でつらい感情に対処することが困難、道徳発達が損なわれ社会的責任に欠ける、等がみられることがあります。そのような子ども達に職員ができることは、まず安心・安全を感じられる環境の提供と、どんな自分でも否定されない・そのままの自分でOK・自分は「大切な存在」なんだと子どもが実感できる温かい関係を築くことだと思います。時には暴言暴力や試し行動を受ける職員側も本当に大変な思いをして日々子ども達のためにがんばっています。そんな子ども達や職員さん達を心理士として応援していきたいと思っています。

心理士 矢板千津子

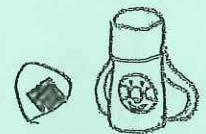


昼間保育 (春から夏 3人の日記より...)

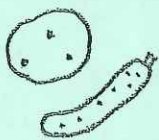
6月 フッ素からネーブルパークへの遠足



R君...初めての乗馬(ホ-)体験に驚きと嬉しげで大興奮
H君...人参もあげたよ 口の大きさにびっくり
Kちゃん...馬→怖い、無理 ダメ イヤ! で終了
でも おにぎりはおいしかった



7月 掘ったじゃがいもから ポテトサラダ作り



R君...つぶしたおいもはあちち でも我慢!
H君...ねこの手にしての包丁使い 楽しかった 将来は板前だ"
Kちゃん...味つけはおまかせ♡ うん美味しい



8月 電車で行った「おかあさんといっしょ」ツアー



R君...3人で仲良く電車で座ったね いろいろな景色に感激
H君...お土産も自分で決めて お買物も出来ました
Kちゃん...初めて見る華やかなステージ 一緒に歌って踊って最高

夏を越えてひとまわり大きくなった3人です

これからも応援して下さい お願いします

地域小規模施設「あすなろ」から

今年の夏は、冷房が欠かせないほどの猛暑が続きました。子ども達の夏休みの様子は…。小学生は、毎日の朝の学習時間に夏休みの宿題を頑張っていました。絵を上手に書く事が出来、羽生市民プラザに飾って頂けました。高校生は、学校やふれんどにお手伝いをしに行く事や、アルバイト、就職に向けての実習を頑張っていました。

今年の旅行は、以前から子ども達が希望していた「あすなろ」で行って来ました。子ども達が喜んでくれる旅行を考え、東京ディズニーシーと桃狩りツアーにしました。両日も天気にも恵まれ、気温も心もとても熱い旅行になりました。ディズニーシーでは、たくさん乗り物に乗ることができ、可愛い食事をして、とても素晴らしい思い出になりました。桃狩りツアーでは、歩いて橋や急な階段を下って滝を見に行ったり、工場の見学をしたり、美味しい桃の食べ放題に参加をしました。来年もあすなろで行けたら子ども達が話しています。また、子ども達からディズニーシーへお礼状を書きたいと話があり、お礼の言葉と可愛い絵を送らせて頂きました。子ども達が自分で考え、行動をすることができ、その成長に喜びを感じています。今年の夏も子ども達と素敵な思い出を共有することができ、あすなろ職員は幸せを感じています。

(山崎)



しらかばの一年

今年度も気が付けば半年が経ち、早くも一年の折り返しとなりました。春に進学進級した子ども達も学校生活に慣れ、あっという間に夏休みが終わりました。中学生になった男の子二人は毎日の部活動に疲れながらも日々奮闘し、春前にしらかばに来たばかりの小学6年生の男の子は友人を見つけ楽しく学校生活を送っている様子。少しでもこの子達の成長の為になればと日々考えさせられます。

そんな中、今年度1人の男の子が中学校を卒業し高校へ、2人の高校3年生の男の子がしらかばから巣立つ事になります。全員にとって大切な時間である事には変わりはありませんが、特にこの3人にとっては特別な1年になっているのではないかと思います。一緒に生活をする中で時にはぶつかり合う事もありますが、今年度も残り半年となった今、この時期を一緒に生活しているからには子ども達にとってより良い選択が出来る様、一緒に考えていきたいと改めて感じるところです。

こうして日々生活出来ているのも色々な人の助けがあって成り立っているという事も子どもと一緒に考えながら、年度末、来年度をみんなで笑って迎える事が出来たらと思います。その為にも、今後ともしらかばを温かく見守って頂ければ幸いです。

しらかば 相澤

日誌

※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施

※随時、職員研修を実施

◆8月

1日：あすなろ日帰りバス旅行

(7月30日～) 1～2日：新二小サマースクール・水泳教室

4日：曙プレーキ納涼祭

7日：江崎グリコポッキー工場見学

18日：幼児「おかあさんといっしょ」観覧

21日：小学生日帰り旅行（ディズニーシー）

23日：施設対抗ソフトボール大会

25日：くわの実納涼祭

29日：小・中始業式

※8月中：残留児外出

◆9月

3日：高校始業式、新二小との連絡会

11日：春山幼稚園敬老参観

16日：中高生日帰り旅行（東京散策）

22日：南中文化祭

22日：手子林小運動会

23日：新二小運動会

30日：川俣小運動会

※上旬～下旬 高校文化祭

◆10月

6日：ふれんど運動会

7日：春山幼稚園運動会

7日：新郷地区体育祭

11～12日：川俣小6年修学旅行

16日：新二小新1年生就学時健診

20日：新二小すずかけ祭り

21日：市内体育祭

22日：南中合唱コンクール

25日：小中市内音楽会

27日：漢字検定

※上旬～中旬：高校中間考査

上旬：中学校到達度テスト

◆11月

2日：幼児日帰り旅行（日光）

7～9日：南中三者面談

10日：商工会青年部との交流会

11日：七五三

13日：新二小持久走大会

15～16日：手子林小6年修学旅行

18・25日：CAP 中高生向けワークショップ

21～22日：新二小6年修学旅行

27日：川俣小・手子林小持久走大会

※上旬：高校生 期末考査

◆12月

2日：春山幼稚園お楽しみ会

21日：春山幼稚園・小・中・高校終業式

24日：ふれんどクリスマス会

いつも温かいご支援ありがとうございます
～寄贈品（5～8月）～

(株) かねか苑葬祭・フードバンク北関東・(株) クリバ・(株) ハネスト・(株) ムーンバット・曙プレーキ・ノエビアグリーン財団・グリコピアースト・(株) 和田百貨店・(株) ニッカネ・島田精肉店・木村周作店・ケンゾー・飯田近夫・岡戸富美子・飯島桂子・石井敏夫・渋谷田正男・高柳優季・小林静子・石原ミサヲ・斉藤悦也・河田美登里（敬称略・順不同）

《編集後記》

暑い暑い夏がようやく終わったと思ったら台風・暑さのぶり返し・朝晩の冷えなど、体調を崩している子ども達や職員が多い今日この頃です。2学期は行事も多く子どもも大人も慌ただしくなりがちですが、移りゆく季節を楽しむ心の余裕を持って過ごしていきたいと思っています。

畑・矢板